

《基本方針1》
憲法、教育関係法規、学習指導要領、県教育方針、市教育方針をもとに、人権尊重・平和社会実現を基本理念とした教

《基本方針2》
児童・地域の特性をふまえ、読み取る力・伝え合う力の育成やよりよい人間関係を構築するために、「言語能力」を身につけた心身共に健康な児童の

＜学校教育目標＞
豊かな心で思いをつなぎ合い、仲間とともに学び続ける海辺っ子の育成

＜めざす子ども像＞
「あ」・・・明るいあいさつができる子ども
「ま」・・・学びあう子ども
「べ」・・・ベストをつくす子ども

＜めざす学校像＞
○安心・安全で、明るく活力がある学校
○人権感覚に満ち、信頼できる学校
○地域に貢献できる学校

＜めざす教職員像＞
○信頼される教職員
○人間性や感性、人権感覚を磨く教職員
○レベルアップしていく教職員

(1) ふるさとを愛し、地域・家庭と共に歩む学校づくりの推進
① 芯の通った学校
～学校教育目標達成に向け「芯の通った学校組織」の定着を図る活力ある学校
② 協働できる学校
～学校公開や地域教材の活用により、保護者・地域と共に歩む学校
③ 学校評価による改善を続ける学校
～学校評価や学校運営協議会等を活用し、改善を続ける学校

(2) 一人一人が輝く教育活動の実践

『生きて働く知識・技能の習得』
基礎・基本の定着
《何を理解しているか、何ができるか》

① 「新大分スタンダード」を基盤とし、タブレット端末や思考ツールの効果的な活用。
② めあてと振り返りの設定と質の向上。
③ 毎日の音読練習実施。
④ 週2回のチャレンジタイムの活用。
⑤ 各学年に応じた読書の推奨と読書時間の確保。

『未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成』
自ら考え、表現する力の育成
《理解していること、できることをどう使うか》

① 「交流の場・認め合う場」を設定した授業展開。
② 「わかる・できる」楽しい授業づくり
③ 「見通しを持たせ、考えを表現させる」ための授業の研究。
④ 自尊感情の醸成と自己有用感の向上。
⑤ 「おうちカード」による親子のコミュニケーションの時間の確保。

『学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の涵養』
よりよい人間関係を築く力の育成
《どのように社会・世界とかわり、よりよい人生を送るか》

① お互いを認め合える学級づくり。
② 「人間関係作りプログラム」の計画的実施。
③ 学校内外を通じ、「にこにこあいさつ」や「ふわふわ言葉、ふわふわ行動」の推進。
④ 児童と教師の温かい人間関係の構築。
⑤ 異学年交流の推進。
⑥ 凡事徹底。(あたり前のことをあたり前にする)

校種間連携の強化
① 幼保こ小中一体教育の共有と連携
・北中ブロック間の積極的な情報交換
・4点セットの小中共有化と系統的实践、研修の充実
・幼保こども園との連携

安心・安全の確保
① 安全教育の推進
・危機管理体制の充実と安全・防災教育の推進
・「情報共有」、「報告・連絡・相談」の徹底
② 個々の児童に応じた心のケアと早期対応
③ いじめ防止

(3) 信頼される教職員の育成 ～指導の統一性・一貫性と協働体制の確立、働き方改革の推進を図る

① 専門的知識をもち、実践的指導力のある教職員…教科指導力、学級経営力、生徒指導力
② 使命感にあふれ、高い倫理観と豊かな人間性をもつ教職員…人権意識の向上と確立、人間性・感性の向上、服務規律厳守
③ チーム学校の一員として考え行動する教職員…組織力の向上(チームあまべ)
④ 地域に貢献できる教職員…学校運営協議会等を通じ、地域・家庭と共に活動する
⑤ 児童一人一人を大切にしている教職員…気づき・かかわり・寄りそう指導、凡事徹底、率先垂範
⑥ 積極的に働き方改革に取り組む教職員…意識改革、業務のICT化推進、会議削減・短縮、職務内容の効率化・優先順位、計画的退庁管理